

害などに備え、日ごろから地域で防災訓練を行ったりいざというときには地域で中心となって救助やけが人の手当て、避難誘導、二次災害の予防に努めたりするなど重要な働きをしています。

区での自主防災組織結成率は十月一日現在で68%。この数字は、ほかの区と比べると決して高い数字ではありません。そのため区役所と消防署では、地域の町内会などに自主防災組織の結成を呼びかけ、未結成の町内会へ直接、足を運ぶなどして自主防災の必要性を訴えています。さらに、地域の自主防災活動が進むよう次のような支援を行っています。

①防災リーダー研修

自主防災組織から選ばれた防災リーダーを対象に、講義や実技指導を行っています。

②防災資機材の支給

消火、救出、救護活動などに必要な資機材をセット

にして、町内会などの自主防災組織に支給しています。

③防災訓練の手伝い

それぞれの自主防災組織が行う防災訓練の計画から当日の訓練までの手伝いをします。

十月四日には西町三町内会で、毎年一回開催している防災訓練が行われました。西町三町内会の上野春男（つえの はるお）交通防災担当部長によると、「今年は、八十人が参加し、初期消火やバケツリレー、煙道通過訓練を行いました。消防署の屈折車も来て、子どもさんも参加してくれました」と話し、先日の地震についても「いざ地震があるとやはり慌ててしまいま



▲救命訓練の様子。こうした訓練が大事な生命を救います

すね。訓練の必要性を改めて感じました」と、防災意識のさらなる向上について語ってくれました。

このように地域の自主防災組織では、「防災」を実践し、地域の安全のために啓発に努めているのです。

こんな取り組みもしています

市では、九月一日を含む一週間を防災週間とし、区単位で防災訓練を行っています。西区では今年、琴似、八軒、八軒中央、発寒の四地区で行われ、地域の自主防災組織や区役所、西消防署、消防団が参加しました。各地区では、初期消火や家屋の下敷きになった人の救出、人形を使つての救護、煙道通過などの訓練を行いました。

そのほか、西消防署では、区民の皆さんに防火防災への意識を高めてもらおうと「消防署一日公開」や「火災予防パレード」、「防火人文字」などを行い、啓発に努めています。

あなたも身近なことから

災害が発生しても、いざというときに慌てず、冷静に行動して被害を最小に抑えることが必要です。そのため、「自分たちの命はまず自分たちが守る」という心構えを持ち、私たち一人ひとりが日ごろから災害に対して意識し、地域の防災活動に参加することが大切です。その活動は一人では小さな力であっても隣近所の皆さんと助け合い力を合わせることで、大きな力を発揮し、地域の信頼関係を深めることができるでしょう。

問い合わせ先

区役所・消防署では、地域の防災活動に対してさまざまな支援を行っています。お気軽にご相談ください。

●自主防災組織の結成・運営
防災資機材の支給については
西区総務企画課交通防災・施設
担当係TEL(64)2400内線25

●防災訓練については
西消防署TEL(67)2100